



リスト音楽大学 教授
オンツァイ・チャバ (チェロ)
ONCZAY Csaba



リスト音楽大学 (元院長) 教授
ファルヴァイ・シャンドル (ピアノ)
FALVAI Sandor



リスト音楽大学 准教授
サバディ・ヴィルモシュ (ヴァイオリン)
SZABADI Vilmos

1946年ハンガリー生まれ、リスト音楽院卒。モスクワやシエナ(イタリア)で学んだ後、リスト音楽院の教授に迎えられる1973年パブロ・カザルス国際音楽コンクール第1位1976年ヴィラ・ロボス国際コンクール第1位。さらに、世界各地でソロ・コンサートを行うかわら、一流のオーケストラとの協演も多く、世界各地で幅広い演奏活動をしている。中でも、ウィーンフィルハーモニー、ゲバントハウス・オーケストラなどとの協演では、特に称賛を得る1986年コダエリのソナタ演奏に対してハンガリーで最も権威のあるリスト賞授賞1993年芸術家に贈られるハンガリーの最高のコシュート賞を受ける2004年音楽家に贈られる最高賞、バルトーク賞を受賞今までに、パッサカリアルトスラフスキーまでのチェロのための主な作品をほとんど演奏し、その他、彼のために作曲されたいくつかの現代の作品もあり、現在のレパートリーは、40曲を数える。93年の初来日とき、岐阜県と愛知県のハンガリー友好協会発足のきっかけを作り、多くのファンを持つ。

1970年ローザンヌで開催されたユニセフ主催のガラコンサートに招かれ世界的アーティストらと共演1972年リスト音楽院を優秀な成績で卒業。ブダペスト交響楽団のソリストとしてドイツの主要都市にて演奏1973年チャイコフスキー音楽院大学院で研鑽を積む。ハンガリーラジオ放送ピアノコンクールにて2位。ベルリンでデビューコンサートを行い成功する1978年ニューヨークのカーネギーホールにおいてアメリカデビューを飾り絶賛を博すヨーロッパ各地はもとより、日本、カナダ、アメリカなど世界各国で演奏活動と教育活動を行う。これまでに、20以上のCDを発表している。また、リスト、プゾーニ、フンメルなどの国際的なピアノコンクールの審査員としても知られている。リスト音楽院ピアノ科主任教授を経て、97年より2004年までリスト音楽院院長を務める。98年岐阜県に初めて訪問し、マスターコースとコンサートで多くの支持を得る。05年、日本政府から旭日中綬章を受ける。

1959年ハンガリー生まれ、リスト音楽院を卒業1982年「ハンガリー・ラジオコンクール」で初の受賞1983年最年少でリスト音楽院の講師に迎えられる1985年「シベリウス・コンクール」第3位(以来、フィンランドに招待され、定期演奏や大学院で授業を行う)1988年ロンドン王位フェスティバルホール(ロイヤル・フェスティバルホール)で開催される「バルトーク祭」でゲオルグ・ショルティ氏に誘われ、バルトーク「ヴァイオリン協奏曲第2番」を演奏。これを機に、国際的な活動を開始1993年ハンガリー政府から「フランツ・リスト」賞を授与1995年スペイン・マドリッド「ストラディヴァリウス・シリーズ」に参加。スペイン王室が所有するストラディヴァリウスを使って演奏。現在は、クレモナの1778年製「STORIONI」を使用1999年第33回MIDEM Festivalで、世界中から寄せられたCD1000枚以上の中から「最優秀賞」受賞(ハンガリー出身者による受賞は史上初)2004年リスト音楽院准教授となる。

共演

和田 さやか WADA Sayaka (リスト音楽院ディプロマコース修了、ピアノ)

洗足学園音楽大学卒業、同専攻科修了、ハンガリー国立リスト音楽院ディプロマコース修了、ハンガリー国家演奏家資格最高位、及び国家教員資格取得 (EU圏内) ディプロマ、及びMA取得。第9回神奈川音楽コンクールシニア部門にて第2位。第3回リスト・バルトーク国際コンクールにて特別賞受賞により、イタリア・ローマにてリサイタルをはじめ、国内外のコンクールに入選、天皇皇后両陛下ハンガリーへ来訪の際、御前演奏。1999-2001年 ハンガリー政府給費留学生。公開講座、チャリティコンサート、ヨーロッパにおいて音楽祭に出演、来日したハンガリー国立リスト音楽院管弦楽団と共演、ハンガリー国営ラジオにて演奏するなど、国内外でソロ、室内楽の両分野にて、活動中。洗足学園音楽大学講師、Muzsikalice主宰、Amadé講師。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本演奏連盟会員、日本ソルフェージュ協会正会員。ピアノを、片山澄子、世部陽子、ヴァレリア・セルヴァンスキー、ジュラ・キシユ、マックス・エッカー、村上明美、イェヌー・ヤンドー、室内楽を、バルトーク弦楽四重奏団の、ゲーザ・ネーメトの各氏に師事。http://www.sayakawada.com

原田 綾子 HARADA Ayako (リスト音楽院修了、ピアノ)

名古屋市長立高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学を卒業。同大学院修士課程を修了後、ハンガリー国立リスト音楽院にて研鑽を積む。ベルリン交響楽団のソリストとして来日したヴァイオリニスト、ユーリ・ブラジンスキーのリサイタル・ツアーの共演ピアニストとして、その音楽的な柔軟性を高く評価された。これまでに、チェコフィルハーモニー弦楽六重奏団、シユトゥットガルト弦楽六重奏団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ハンガリーでは、セゲドシンフォニーオーケストラ等と共演。第18回ヴァレンティノ国際音楽コンクール第1位、およびヴァレンティノ大賞を受賞。その他、ペラ・バルトーク国際音楽コンクール第3位。名古屋市民芸術祭 2008審査員特別賞、第5回名古屋音楽ベントラフ 賞を受賞。細田和枝、森本恵美子、宇都宮淑子、重野和彦、ローラント・ケラー、ネメティ・アツティラ、ファルヴァイ・シャンドルの各氏に師事。現在、名古屋音楽大学及び同高等学校音楽科非常勤講師。

大迫 綾香 OSAKO Ayaka (リスト音楽院大学院首席卒業ディプロマ取得、ヴァイオリン)

岐阜県可児市出身。愛知県立明和高等学校音楽科、東京音楽大学卒業。ぎふ・リスト音楽院マスターコース2007-2010受講。留学選考試験に合格。ハンガリー国立リスト音楽院大学院課程に首席で入学、修了。MAディプロマ及びプロフェッショナル演奏家資格を取得。ヴァイオリンを佐々木はる、篠崎功子、サバディ・ヴィルモシュの各氏に師事。7回長江杯国際音楽コンクール大学の部第2位(1位なし)。第17回アネモス国際音楽コンクール第2位(ローマ)。これまでに、佐々木はる、篠崎功子に師事。ブダペストにて春の音楽祭/ハンガリー-日本フレンドシップコンサート、在ハンガリー日本大使館コンサート等に出演。2011年5月ブダペスト弦楽アンサンブルとメンデルスゾーンバイオリン協奏曲を共演。同年夏に帰国。現在、愛知・岐阜を中心に演奏活動を行っている。

橋本 専史 HASHIMOTO Atsushi (リスト音楽院留学中、チェロ)

1988年豊田市出身。3歳よりチェロを始める。愛知県立豊田南高等学校を経て東京芸術大学を卒業。2012年よりハンガリー・リスト音楽院に留学し、2015年6月に大学院修士課程修了。これまでに久保田頭、林良一、林俊昭、オンツァイ・チャバ各氏に師事。ヤーン・シュ・シュタルケルはじめ、ミクロー・シュ・ペレーニ、タマーシュ・ヴァルガのマスタークラス受講。国内では、大阪国際コンクール、横浜国際音楽コンクール、和歌山音楽コンクールなど、数々のコンクールに入賞。室内楽では、藝大室内楽定期第35回に出演、韓国において武満作品を演奏、ハンガリー・デブレツェン室内楽コンクールにてハンガリー人との弦楽トリオでドナナー作品を演奏して入賞、イタリアのクープラ音楽祭にて協奏曲を演奏。2011年には、G・ボッセ指揮、ジャパンアカデミーフィルハーモニー24回定期演奏会にて首席チェリストを務める。ヨーロッパ留学を生かして各地で数々のコンサートをプロデュースし、国際的な演奏活動を行っている。